

.....  
2018年10月12日（金）開催 財務報告実務検定 & IPO 実務検定 共同セミナー

～有報のMD&Aの改正を徹底解説！～

【経営者による財政状態、経営成績及び  
キャッシュ・フローの状況の分析】  
の改正の全体像

&

「資本の財源及び資金の流動性」の開示

.....  
【プログラム】

（第一部）

時間 14：30～15：30

【経営者による財政状態、経営成績及び  
キャッシュ・フローの状況の分析】  
の改正の全体像

講師： [EY 新日本有限責任監査法人](#)

公認会計士 岩谷 朗（いわたに あきら）様

（第二部）

時間 15：40～16：40

「資本の財源及び資金の流動性」の開示

講師： [広野総合会計事務所 代表](#)

公認会計士 広野 清志（ひろの きよし）様

【ご案内】

このたび財務報告実務検定事務局は、上記の2本立てのセミナー（IPO 実務検定との共同セミナー）を開催いたします。

平成30年1月に施行された「企業内容等の開示に関する内閣府令等の一部を改正する内閣府令」により、有価証券報告書におけるMD&A（Management's Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations）の開示の充実が図られました。具体的には2018年3月決算より有価証券報告書では従来の【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】に代わり、新たに【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】を開示することとなりました。項目名だけ見ると、従来の有価証券報告書の【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】の冒頭に「経営者による」の文言が追加されただけのように見えますが、記載内容は従来とは大きく異なっています。まず、従来の【業績等の概要】【生産、受注及び販売の状況】【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】が一つに統合されました。その上で、経営成績等の状況の分析・検討の記載を充実させる観点から、事業全体及びセグメント別の経営成績

等に重要な影響を与えた要因について「経営者の視点による認識及び分析」を記載するとともに、「経営者が経営方針・経営戦略等の中長期的な目標に照らして経営成績等をどのように分析・評価しているか」を開示しなければならなくなりました。

本セミナーの第一部では、上場会社や IPO 準備会社を多数担当しており開示実務に詳しい EY 新日本有限責任監査法人の公認会計士 岩谷 朗 様をお招きし、【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】について開示すべき事項の全体像及び【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】等との関係などを分かりやすく解説していただきます。

また、第二部では、新たな【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】の開示の中でも上場会社によって記載内容に濃淡の差が生じている「資本の財源及び資金の流動性」の開示上の注意点について、上場企業の IR のサポートで豊富な実績を有する 広野 清志 公認会計士をお呼びし、実際の開示事例を参考にしながら丁寧に解説していただきます。

■開催日時：2018年10月12日（金）14：30～16：40（受付 14：15～）

■開催場所：ワйм会議室 高田馬場 RoomG

東京都新宿区高田馬場1-29-9 TDビル9F

JR 山手線・西武新宿線「高田馬場」駅 戸山口 徒歩2分

東京メトロ東西線「高田馬場」駅 5番出口 徒歩5分

<http://waim-group.co.jp/space/takadanobaba/access.html>

■定員：40名（定員になり次第締切）

■受講料：財務報告実務検定会員及び IPO 実務検定会員の方は無料

上記以外の方は10,800円

■申込方法：セミナーへのお申込みはこちらからお願いいたします。

<http://zaimuhokoku.jp/seminar/20181012/index.html>

■主催：財務報告実務検定事務局（一般社団法人日本 IPO 実務検定協会内）

#### 【講師略歴】

（第一部）

[EY 新日本有限責任監査法人](#)

公認会計士 岩谷 朗（いわたに あきら）様

1997年－2000年 青山監査法人

2000年－2007年 中央青山監査法人

2007年（－現在） EY 新日本有限責任監査法人

---

